君を想ってる

ミーシャ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このＰＤＦファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にＰＤＦ化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのＰＤＦファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
君を想ってる

【Ｎコード】
Ｎ９８５５Ｒ

【作者名】
ミーシャ

【あらすじ】
ネット少女柚真知。
彼女がある日出会った１つの詩
詩に始まり詩に終わる
詩に導かれた先で柚真知を待つ人とは・・・・・！

プロローグ

君に出会ったのは

満開に咲く桜の季節・・

私はまだ君の声を聞きけますか
君はまだ私の声が聞こえますか

聴く事はできますか——

――――――――――――――――――――――――――――――――

――――――――――――

君と話して笑ってふざけ合って・・・

毎日が幸せで

ずっと当たり前に続くと信じてた・

どこで間違えたんだろう

なにを間違えたんだろう

季節外れのサクラ吹く初夏

もうあれから3年が経つのに
まだ忘れられそうにないよ

何でなのかな??

君の事を考えると
胸が縛り付けられてるみたいに辛い.

そっか。
あたし.・・・

君に恋してるんだね

季節外れのサクラ吹く初夏

季節外れのサクラの木の下

桜色に染まった君に出会った

変わる日常

「おはよっ」
「おう！おはよう」
今日もいつもと変わらない朝
だけどあたしは集中できない
だって最近おかしなやつがいるんだもん

「おはよっ」
「・・・・・・ぁぁ」
ほらね？ついこの間までは鬱陶しいくらいにうるさかったのに。
ここんとこずっとこんな感じ。
ああ。こいつのことまだ紹介してなかったね。
こいつはあたしの幼なじみの蒼。
ちなみにあたしの名前は空。
こいつとあたしで蒼空ができるの。
相性ぴったりだと思わない？
・・・べ、べつにこいつが好きとかじゃないんだからねっ

・・・・・・・・・・・・でも、挨拶もしてもらえないのは寂しい。
かも。
でも、こいつのことだからすぐに戻るよねっ！
うん。そうだわ。戻るわ。

あたしだけの詩

あれから1週間が経った
土日も挟んだし、そろそろ元に戻ってるはず！
「おはよっ」
「・・・・・・・・・・・・・」
「あーおー？」
「・・・・・・・・・・・・・」
「あお！」
「・・・・・・！あぁおまえか。空か。」
うわ。戻ってるどころか先週よりもひどくなってるー
もう！いつまでそんな態度でいるつもり？！
蒼のバカ！！！
ただでさえ最近は話してくれないのに。
あたしの気持ちも考えなさいよバカっ！！！！！
あ〝あぁもう！こういう時ってネットが1番ストレスとれるんだよねー
ってかネット友ならあたしの気持ちわかってくれるし。
ん？なんだろう。詩？
ーーーーこのとき見つけた詩は当時の自分にあまりにも重なって、目を離せなかった。
だってあたしそのものを知ってて書いたような内容だったから。
・・・・・・・・・聞いたことがある。自分にぴったり当てはまる詩が現れる。それは決まって恋に悩んでいる女の子宛。

その詩は彼女たちの心の拠り所となって彼女たちを強くする。そして、、、、、恋を実らせる。

これには心暖まる噂があるの。

この詩を書いているのは1人の女の子。『頑張る女の子たちを応援したい！』っていう願いから書かれた詩で、今はまだ恋する女の子にしか届いてないけど、本当はもっと、部活とか勉強とか、恋以外で頑張ってる女の子にも届けたいらしい。でも、1人でやっていることだから限界があって、わかってるけど、それでも毎日たくさんの詩を書いて送り続けてるんだって。

あたしはこの話を信じてるから、もし書いている子に出逢ったら、一緒にもっとたくさんの人に詩を届けてあげたい。

そっか。次はあたしの番なんだ。あたしが蒼と結ばれる番なんだ。

あたしだけの詩2

「どうしたの？そんなウキウキして。」
「あ！智羽！」
この子は親友の智羽。
「さっすが智羽。鋭いねぇ」
「んで？なにがあったの？」
「あのね。実は・・・」
あたしだけの詩のことを話した。
「空・・・あんたまだ知らなかったの？その詩、今有名だよ。
それぞれの人にあった内容の詩に自然と導かれるように出会えるの。
でも、その詩・・・先月突然更新されなくなって、つい昨日停止の
お知らせが回ってたよ。」
「ふーん。そうなんだー。
じゃあ、もうこないんだねー」
このときはまだ何も気づかず智羽の話なんて受け流してた。

「そういや先月と言えばさ。あいつ。蒼。先月から急に態度悪くな
ったよね。」
「そう？元々あんまり話さないからわかんないけど、純都も放課後
遊び誘っても乗らなくなったとか愚痴ってたなぁ。」
純都っていうのは智羽の彼氏。蒼とは親友。
だから、あたしと蒼が付き合ったら親友同士のカップルになってお
似合いじゃない！
・・・・・・・・・って、べ、別に好きなんかじゃないんだから！

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

　ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n9855r/

君を想ってる

2011年10月8日20時04分発行